

2021年5月20日 全8頁

Indicators Update

2021年4月貿易統計

中国向けがけん引し、輸出金額は米中貿易摩擦前の水準へ

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+38.0%と大幅に増加し、11年ぶりの高い伸び率となった。季節調整値で見ると前月比+2.5%と2ヶ月連続で増加した。中国向けの半導体等製造装置が全体をけん引し、輸出金額（季節調整値）は米中貿易摩擦が本格化する前の2018年の水準近くまで回復した。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.1%とほぼ横ばいであった。地域別に見ると、米国向け（同▲1.0%）やEU向け（同▲4.3%）が減少に転じた一方、アジア向け（同+0.7%）は2ヶ月連続で増加した。米国向け、EU向けでは前月に増加に寄与していた乗用車が減少した。アジア向けでは中国向けの半導体等製造装置がけん引役となったほか、中国以外の地域向けの乗用車が増加した。
- 輸出の先行きは増加基調が継続するとみている。とりわけ大規模な経済対策が実施されている米国向けや、高水準のインフラ投資が見込まれる中国向けの輸出が全体をけん引するだろう。ただし、世界的な半導体不足が国内の自動車生産を抑制し、輸出が伸び悩む可能性には留意が必要だ。

【貿易金額】輸出金額は大幅に増加し、米中貿易摩擦前の水準を回復

2021年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+38.0%と大幅に増加し、11年ぶりとなる高い伸び率を記録した（図表1）。上昇の一部は前年の不振の裏の影響によるものだが、季節調整値で見ても前月比+2.5%と増加した。輸出金額（季節調整値）は米中貿易摩擦が本格化する前の2018年の水準まで迫っており、コロナ禍の悪影響から順調に回復していると評価できよう。とりわけ全体を押し上げたのは、中国向けの半導体等製造装置などであった。

輸入金額は前年比+12.8%となった。品目別では原油及び粗油、液化天然ガス、液化石油ガスなどのエネルギー関連が押し上げており、前年にこれらの価格が急落していた裏の影響が表れたとみられる。季節調整値では前月比+7.5%となった。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同+8.2%、輸入価格（同）は同▲0.6%となった。輸入数量を押し上げたのは原油及び粗油や電算機類（含周辺機器）とみられる。貿易収支は季節調整値で+652億円と2ヶ月連続の黒字であった。

図表1：貿易統計の概況

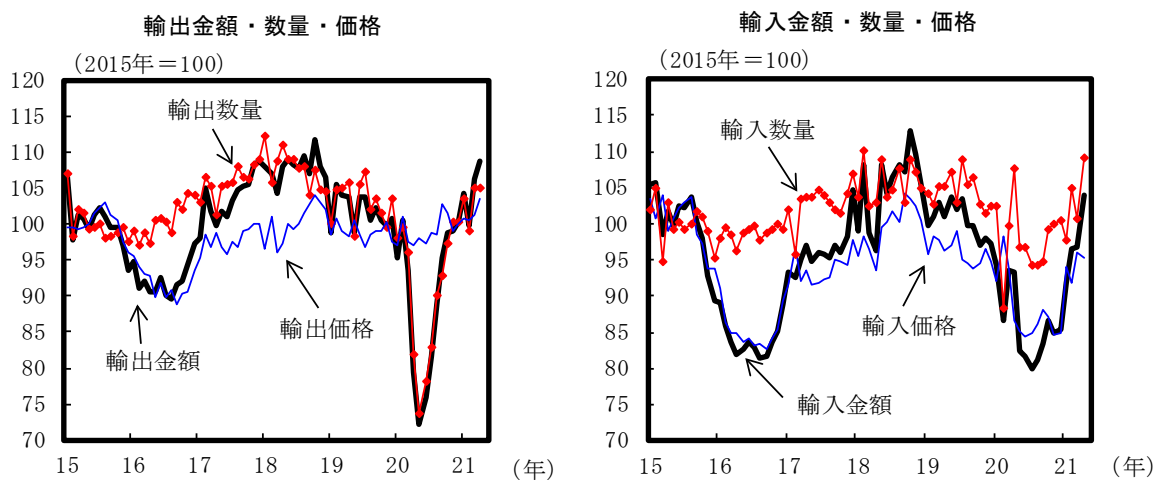
		2020年					2021年				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5	16.1	38.0	
	コンセンサス									30.8	
	DIRエコノミスト予想									18.6	
	輸入金額	▲20.4	▲17.1	▲13.1	▲11.0	▲11.5	▲9.4	11.9	5.8	12.8	
	輸出数量	▲14.8	▲7.7	▲1.6	▲3.9	▲0.1	5.3	▲4.3	12.6	28.4	
	価格	0.1	3.0	1.5	▲0.2	2.1	1.0	▲0.1	3.1	7.4	
	輸入数量	▲11.3	▲8.1	▲5.5	▲2.1	▲2.0	▲4.1	22.0	3.9	2.4	
価格	▲10.3	▲9.8	▲8.0	▲9.1	▲9.7	▲5.5	▲8.3	1.8	10.1		
	貿易収支(億円)	2,280	6,674	8,582	3,558	7,447	▲3,272	2,117	6,622	2,553	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	8.7	7.4	3.7	0.3	1.2	3.9	▲4.3	6.5	2.5	
	数量	8.8	3.0	4.8	3.0	0.0	3.3	▲4.2	5.9	0.1	
	価格	▲0.2	4.3	▲1.1	▲2.6	1.2	0.6	▲0.1	0.6	2.4	
	輸入金額	1.5	2.9	3.7	▲2.0	0.7	7.7	4.9	0.3	7.5	
	数量	0.1	0.6	4.7	0.8	0.5	▲2.7	7.4	▲4.0	8.2	
	価格	1.4	2.3	▲0.9	▲2.8	0.2	10.7	▲2.4	4.5	▲0.6	
		貿易収支(億円)	2,968	5,593	5,771	7,099	7,470	5,645	▲141	3,719	652
	税関長公示レート	106.19	105.96	105.51	104.68	104.11	103.57	104.50	107.13	109.56	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

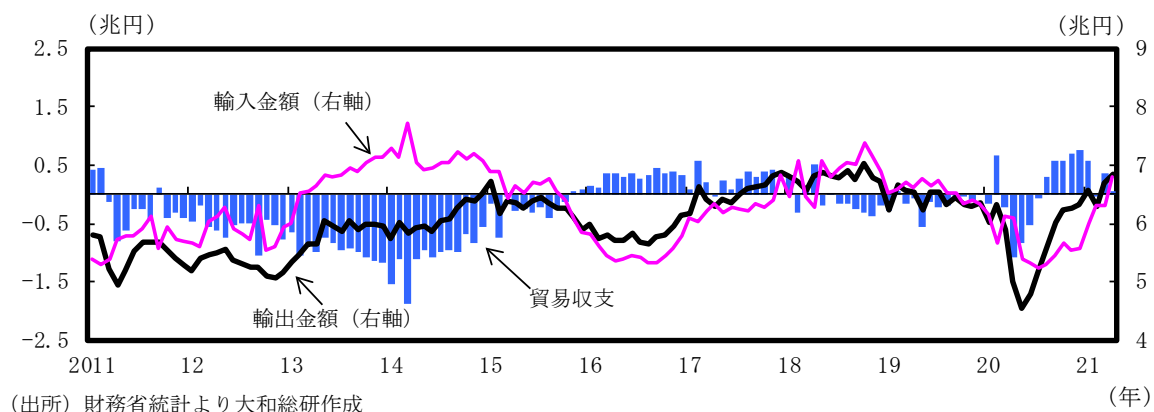
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】中国向け半導体等製造装置が急伸／EU向けは反動減

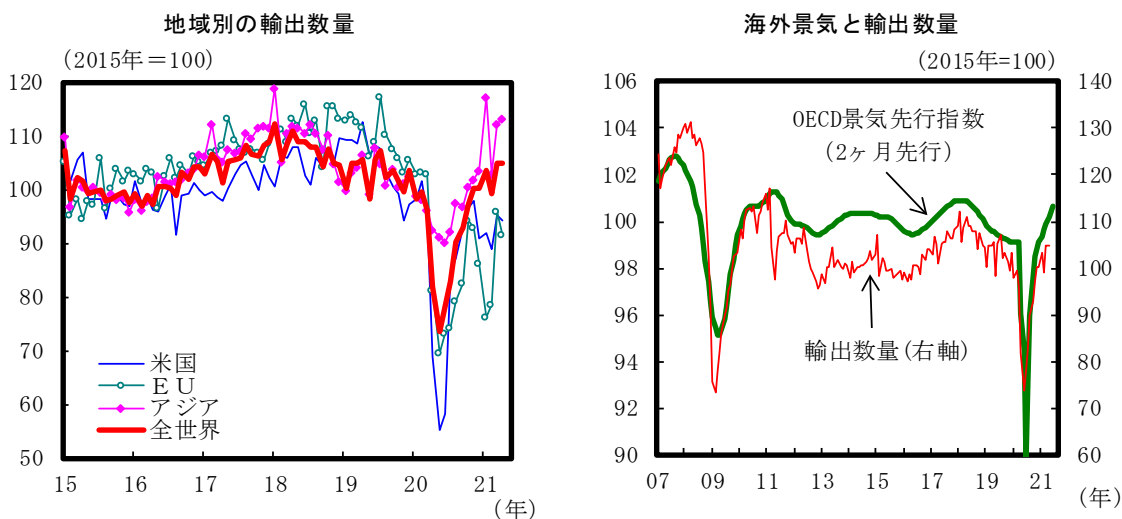
4月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.1%とほぼ横ばいであった。地域別に見ると、米国向け（同▲1.0%）やEU向け（同▲4.3%）が減少に転じた一方、アジア向け（同+0.7%）は増加した。

米国向け輸出は小幅に減少した。乗用車の減少が全体を押し下げており、前月の増加から一服が見られた。他方で自動車の部分品の輸出は増加しており、米国における旺盛な自動車需要を反映して在庫の積み増しの動きが広がっているとみられる。

EU向け輸出は前月の大幅増の反動により減少した。米国と同様に乗用車が減少に転じたほか、前月に増加していた電算機類の部分品も減少した。他方で鉄鋼は高水準を維持しており、ドイツなどで製造業受注が持ち直していることを背景に根強い需要があるとみられる。もともと、EU向け輸出数量全体を水準で見ると、コロナ禍直前（20年2月）の9割程度にとどまっており、他の地域向けに比べて回復が遅れている。

アジア向け輸出は中国向けがけん引役となり2ヶ月連続で増加した。20年央から当月までを均してみると、依然として増加基調を維持している。品目別に見ると、半導体等製造装置や乗用車などが増加に寄与した。半導体等製造装置は中国向けが押し上げており、輸出数量は前月から5割増と急伸した。乗用車は中国向けの伸びが鈍いものの、アジア向け全体で見れば過去最高水準にあり、中国以外のアジア各国に向けた乗用車輸出が大幅に増加したとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】米中向け輸出がけん引役に／欧州向けは遅れて回復

先行きの輸出は増勢が続くとみている。大規模な経済対策に加えて新型コロナウイルスのワクチン接種を迅速に進めている米国向けや、高水準のインフラ投資が期待される中国向けの輸出が全体をけん引するだろう。

地域別に見ると、米国向けは堅調に推移するとみられる。米国政府は1人当たり最大1,400ドルの現金給付や失業給付の上乗せ期間の延長を実施し、家計の購買力を強力に下支えしている。これを受けて米国の4月の小売売上高は過去最高を更新したほか、4月の消費者物価指数(CPI)は前年比+4.2%と急伸した。CPIの上昇の主因は中古車価格の高騰であり、米国市場における自動車需要の強さを反映したとみられる。足元で順調に進むワクチン接種も追い風となり、日本からの輸出は主力の自動車を中心に堅調な推移が見込まれる。

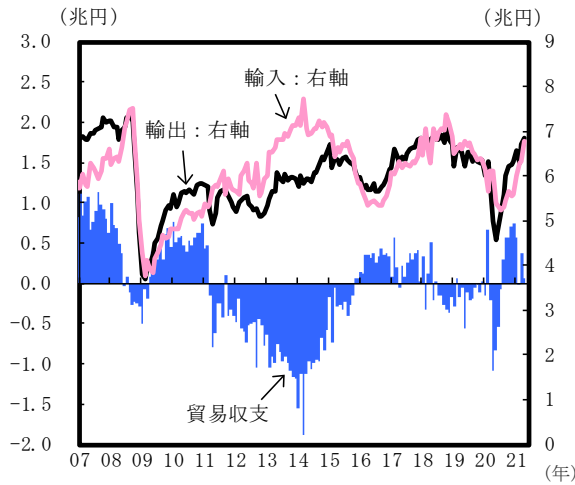
欧州向けは足踏みとなったのち回復に転じるとみている。欧州域内では依然として多くの国で行動制限措置が取られており、短期的には消費機会の抑制が欧州向け輸出の足かせとなろう。他方で足元では新規感染者数、死亡者数の増加ペースがともに鈍化しており、ワクチン接種のペースも加速している。ワクチン普及による経済活動の再開に伴い、欧州向け輸出も遅れて回復に向かうだろう。

中国向けは堅調に推移するとみている。全国人民代表大会において、インフラ投資に充当される地方政府特別債券の発行額は21年分が3.65兆元と決定され、20年分の3.75兆元から僅かな減額にとどまった。旺盛なインフラ投資需要を背景に、中間財輸出が中期的に全体を押し上げる要因となろう。また世界経済の回復を背景に中国の輸出が増加することで、中国国内での資本財需要が拡大する可能性がある。これに伴い、日本からの資本財輸出の増加も期待できよう。

なお、足元では半導体の不足を背景に国内での自動車の減産が相次いでいる。これまで半導体不足の悪影響を回避してきたトヨタ自動車も国内工場では約2万台の減産を余儀なくされた。日本の輸出金額の約2割を占める自動車関連製品の生産が部材不足によって滞れば、好調な米中経済を前にして機会損失が発生するだろう。米中の旺盛な需要に応えられるか否かが当面の輸出の増加ペースを左右するとみられる。

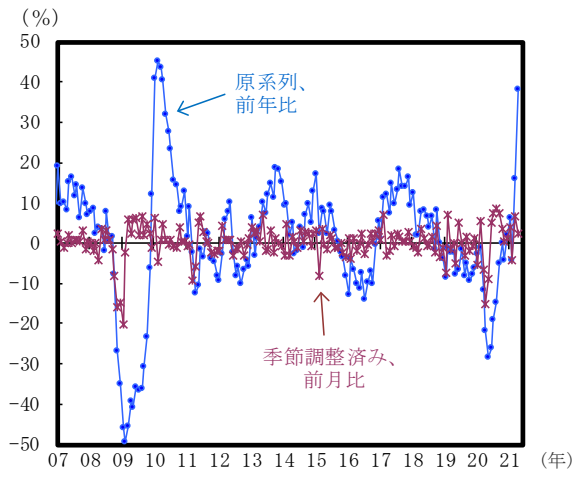
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

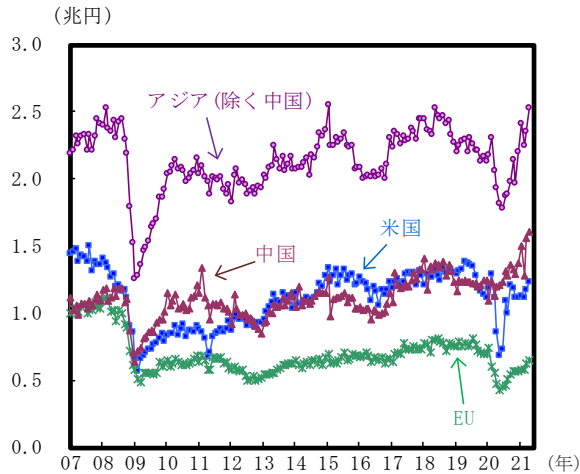


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

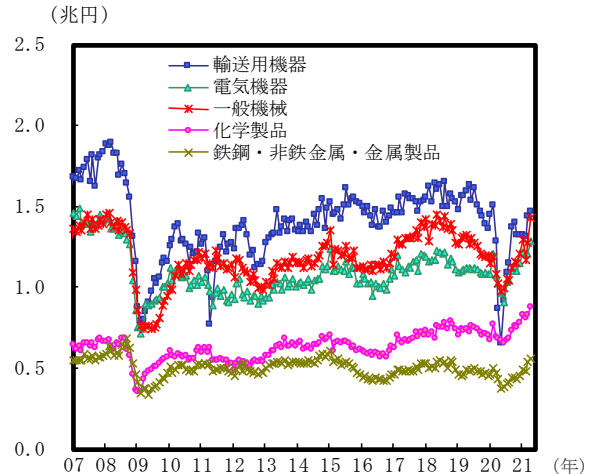


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

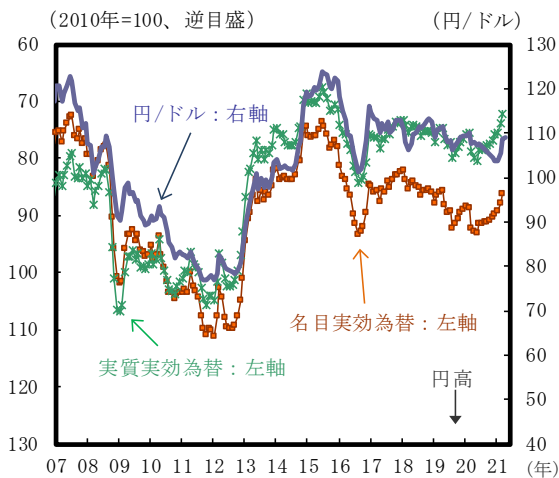


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

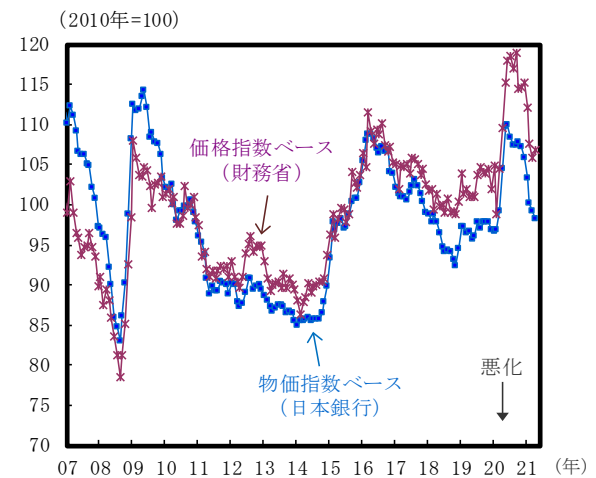
主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5	16.1	38.0	100.0	38.0
食料品	9.8	13.8	41.8	10.6	40.0	37.3	1.2	0.4
原料品	10.4	24.1	17.3	11.6	48.9	75.6	2.0	1.2
鉱物性燃料	▲59.9	▲51.0	▲40.9	▲40.6	▲17.9	▲4.7	0.9	▲0.1
化学製品	5.4	10.0	23.7	5.2	18.5	28.5	13.3	4.1
原料別製品	▲10.6	▲1.6	6.0	▲5.2	13.1	27.4	11.1	3.3
鉄鋼	▲18.5	▲11.9	▲8.3	▲6.7	1.5	20.6	3.9	0.9
非鉄金属	14.8	23.2	31.1	5.4	38.9	48.5	2.3	1.0
金属製品	▲9.6	4.3	13.4	▲2.3	19.0	30.4	1.6	0.5
一般機械	▲3.0	0.3	12.5	▲1.4	18.7	40.3	20.2	8.0
電気機器	1.0	6.6	13.3	▲0.9	12.7	25.6	17.6	5.0
半導体等電子部品	▲4.0	5.0	11.4	▲1.8	9.8	11.4	5.2	0.7
I C	▲6.4	1.4	5.3	▲3.8	4.7	6.4	3.4	0.3
映像機器	5.8	4.6	▲0.8	▲2.5	39.0			
映像記録・再生機器	10.3	8.6	▲5.9	▲3.1	63.3	66.3	0.4	0.2
音響・映像機器の部分品	13.4	▲11.1	22.2	▲21.6	0.5	82.2	0.3	0.2
電気回路等の機器	0.7	7.4	19.7	0.4	17.9	22.6	2.5	0.6
輸送用機器	▲4.5	▲2.7	▲8.7	▲12.8	11.9	69.4	20.4	11.5
自動車	▲3.0	▲4.2	▲5.8	▲12.9	11.2	88.9	13.8	9.0
自動車の部分品	▲2.8	2.7	▲0.5	▲1.7	14.9	68.6	4.6	2.6
その他	▲10.0	5.3	6.7	▲4.8	23.4	32.9	13.3	4.5
科学光学機器	▲11.8	▲3.6	11.1	▲2.1	17.0	20.1	2.6	0.6

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.5	▲0.7	▲4.8	▲14.0	4.8	45.1	100.0	45.1
食料品	13.1	16.4	26.7	▲11.0	26.4	60.2	0.9	0.5
原料品	▲13.7	24.8	8.8	25.7	4.3	19.9	0.8	0.2
鉱物性燃料	▲83.3	▲93.5	▲84.6	▲94.3	▲87.1	▲53.2	0.3	▲0.4
化学製品	▲13.9	▲3.2	12.7	▲3.4	▲3.7	15.8	8.4	1.7
原料別製品	▲14.3	▲1.6	▲3.6	▲11.6	1.8	14.8	6.3	1.2
鉄鋼	▲22.1	▲15.4	0.2	14.1	▲13.0	▲0.2	0.9	▲0.0
非鉄金属	▲16.9	▲10.6	▲19.2	▲26.4	5.4	9.4	0.7	0.1
金属製品	▲14.4	0.0	▲1.2	▲9.5	3.4	31.4	1.8	0.6
一般機械	▲4.9	▲5.8	▲7.9	▲14.0	9.3	24.4	24.1	6.9
電気機器	0.5	2.9	▲3.4	▲6.1	4.4	43.0	14.6	6.4
半導体等電子部品	6.1	0.3	3.0	▲6.8	9.3	21.8	1.4	0.4
I C	▲5.4	1.3	▲12.2	▲7.2	16.7	19.5	0.6	0.1
映像機器	11.0	5.6	▲5.9	▲10.7	▲4.7			
映像記録・再生機器	13.2	14.2	▲10.9	0.9	11.7	62.2	0.7	0.4
音響・映像機器の部分品	6.5	▲19.9	13.5	▲22.0	▲16.1	166.6	0.3	0.3
電気回路等の機器	1.7	4.8	6.9	▲8.4	18.3	36.0	1.5	0.6
輸送用機器	3.5	2.1	▲6.7	▲20.7	1.7	106.5	32.9	24.6
自動車	6.6	3.9	▲0.6	▲19.7	8.3	117.6	24.5	19.2
自動車の部分品	6.1	12.8	▲8.5	▲10.2	1.6	78.3	6.4	4.1
その他	▲6.6	2.7	▲9.2	▲8.5	16.4	32.3	11.6	4.1
科学光学機器	2.7	▲1.0	▲0.7	▲3.0	17.5	50.6	2.4	1.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲18.2	▲17.8	▲22.4	▲3.3	12.8	39.6	100.0	39.6
食料品	12.1	▲5.5	▲4.7	20.2	25.8	79.9	0.6	0.3
原料品	▲38.1	▲31.3	▲12.8	▲7.3	23.5	7.2	0.9	0.1
鉱物性燃料	▲90.2	▲62.3	▲8.9	▲43.1	▲68.4	▲83.0	0.2	▲1.1
化学製品	5.7	4.1	▲5.5	8.1	14.1	24.0	13.9	3.8
原料別製品	▲20.7	▲18.9	▲6.5	▲1.5	27.4	37.9	7.2	2.7
鉄鋼	▲24.7	▲40.7	▲7.8	▲2.5	112.6	40.6	1.3	0.5
非鉄金属	▲20.6	▲14.2	▲25.8	19.6	35.4	39.4	0.9	0.3
金属製品	▲22.9	▲0.6	13.9	5.3	22.3	45.5	1.5	0.7
一般機械	▲8.8	▲13.8	▲18.5	▲4.1	18.2	34.4	22.8	8.2
電気機器	▲11.0	▲1.3	▲8.1	7.5	14.4	45.1	18.3	7.9
半導体等電子部品	▲10.6	2.5	3.9	3.5	17.6	37.8	2.3	0.9
I C	▲17.0	▲6.1	10.7	▲5.7	25.6	43.9	0.9	0.4
映像機器	0.9	26.6	1.9	▲4.6	73.0			
映像記録・再生機器	13.3	43.5	19.2	▲8.6	104.5	154.0	0.8	0.7
音響・映像機器の部分品	▲22.8	▲28.7	10.1	▲8.6	22.6	18.1	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲16.3	▲6.9	▲9.4	▲1.6	23.5	29.3	1.7	0.6
輸送用機器	▲29.4	▲33.7	▲28.7	▲13.8	4.0	73.8	23.0	13.6
自動車	▲35.5	▲49.4	▲32.6	▲24.0	6.1	70.3	12.5	7.2
自動車の部分品	▲9.2	▲0.7	▲1.3	4.0	14.6	117.9	7.0	5.3
その他	▲27.1	▲23.5	▲44.7	▲5.7	13.6	27.6	13.3	4.0
科学光学機器	▲17.2	10.7	▲0.9	0.7	22.5	51.3	3.6	1.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.3	6.1	19.4	▲0.8	22.4	32.7	100.0	32.7
食料品	6.7	14.5	53.5	14.3	46.5	30.4	1.5	0.5
原料品	19.1	30.9	21.1	15.1	65.2	92.0	2.9	1.9
鉱物性燃料	▲47.5	▲32.3	▲24.0	▲24.8	9.1	36.1	1.2	0.4
化学製品	5.6	11.7	31.8	5.5	23.0	32.8	16.7	5.5
原料別製品	▲6.5	1.0	13.8	▲3.6	18.5	30.1	13.4	4.1
鉄鋼	▲15.5	▲11.9	▲0.3	▲5.4	6.3	25.4	5.0	1.3
非鉄金属	23.3	31.9	37.8	6.3	42.7	47.7	3.4	1.5
金属製品	▲8.6	3.8	19.4	0.3	26.0	28.6	1.6	0.5
一般機械	▲4.7	1.9	26.0	3.1	22.9	47.3	20.0	8.5
電気機器	1.4	8.5	20.7	▲0.5	14.7	16.9	21.0	4.0
半導体等電子部品	▲4.3	5.2	12.1	▲2.0	9.3	9.7	8.1	1.0
I C	▲6.2	1.5	5.7	▲3.9	3.6	5.0	5.5	0.4
映像機器	▲3.5	▲12.4	▲3.0	▲3.4	82.2			
映像記録・再生機器	2.9	▲13.3	▲10.7	▲3.8	96.0	40.0	0.2	0.1
音響・映像機器の部分品	15.4	▲9.2	26.5	▲24.1	0.6	74.4	0.4	0.2
電気回路等の機器	1.4	10.9	24.9	2.2	17.7	17.5	3.2	0.6
輸送用機器	▲12.3	9.8	▲5.8	▲12.1	21.5	46.5	8.3	3.5
自動車	▲5.8	7.1	▲3.2	▲7.3	16.7	77.9	4.9	2.9
自動車の部分品	▲11.2	▲3.8	3.2	▲0.0	25.9	34.2	2.9	1.0
その他	▲12.5	5.9	23.8	▲3.0	30.7	27.9	15.0	4.4
科学光学機器	▲14.6	▲7.7	15.4	▲3.2	16.2	8.4	3.0	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.8	10.2	37.5	3.4	37.2	33.9	100.0	33.9
食料品	9.1	18.3	76.9	28.2	55.4	45.0	1.1	0.5
原料品	40.3	79.6	58.3	39.9	145.8	138.8	2.5	2.0
鉱物性燃料	▲20.1	▲47.5	91.2	▲31.9	37.9	7.4	0.5	0.0
化学製品	1.8	7.6	40.6	▲1.4	37.8	28.1	17.0	5.0
原料別製品	2.8	6.0	40.9	3.2	40.5	37.5	11.6	4.2
鉄鋼	▲4.8	▲13.7	11.7	▲7.9	24.4	50.4	3.4	1.5
非鉄金属	31.4	44.8	104.0	41.2	73.1	46.4	3.5	1.5
金属製品	▲4.0	4.0	42.9	8.2	47.8	34.1	1.7	0.6
一般機械	2.4	6.0	44.3	10.7	38.1	56.7	25.1	12.2
電気機器	2.2	8.1	32.0	▲1.4	22.1	13.3	19.2	3.0
半導体等電子部品	▲17.0	▲6.4	4.1	▲13.6	▲5.1	▲10.2	5.2	▲0.8
I C	▲26.7	▲15.9	▲10.0	▲18.6	▲15.7	▲23.6	3.1	▲1.3
映像機器	0.7	▲20.4	▲6.3	▲2.6	106.5			
映像記録・再生機器	5.2	▲24.3	▲14.6	▲1.4	132.9	15.1	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	9.0	▲28.9	64.9	▲39.7	▲2.0	48.4	0.5	0.2
電気回路等の機器	9.0	18.4	38.0	0.6	39.3	18.2	3.3	0.7
輸送用機器	4.1	6.3	12.6	0.9	39.2	52.4	10.3	4.7
自動車	12.3	11.2	13.5	3.5	35.7	80.1	6.3	3.8
自動車の部分品	▲4.4	▲0.6	10.4	▲0.4	48.1	20.7	3.7	0.8
その他	9.0	25.8	43.0	4.0	41.6	15.2	12.7	2.2
科学光学機器	▲18.1	▲20.0	0.7	▲14.4	4.8	▲5.2	3.7	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成